



瑞中だより

学校だより 第 11 号
平成30年 12月 4日
瑞穂町立瑞穂中学校
〒190-1211 瑞穂町石畑 1961-1
TEL 042-557-0070

和顔愛語 先意承問

校長 池谷 芳彦

先日、義父の一周忌の法要に参列しました。その時、僧侶から、とてもためになる教えをいただきました。

それは、「故人と心の中で会話しましょう。」からはじまりました。実際には、故人の写真に語りかけても、返答がある訳ではありませんので、自問自答となります。それでも、目を閉じて語りかけていると、なんとなく故人の声が聞こえたような感覚になります。思い出もよみがえりました。

僧侶は言いました。お経の中に、「和顔愛語（わけんあいご）」という言葉があります。「和顔愛語」とは、和やかな笑顔と思いやりのある話し方で人に接することです と。

その後、自分でも調べてみました。

「和顔」はやさしげな顔つきのこと。「愛語」は親愛の気持ちがこもった言葉の意味です。穏やかで、親しみやすい振る舞いができたらいいなと思いました。

「和顔愛語」には、さらに続きがあります。「先意承問（せんいじょうもん）」。これは相手の気持ちを先に察して、その望みを受け取り、自分が満たしてあげるという意味です。この言葉は、親鸞聖人（しんらんしょうにん）が真実の経典として最も大切にされた浄土三部経の一つ「無量寿経（むりょうじゅきょう）」の中にある言葉だそうです。法蔵菩薩（ほうぞうぼさつ）が積まれた菩薩行の一つとして、「和顔愛語にして、意（相手のおもい）を先にして承問す」すなわち、相手の身になって和やかな笑顔と慈愛（じあい）に満ちた温かい言葉を発し、相手の気持ちを思いやって先んじて動くこと、仏の智慧（ちえ）に支えられた菩薩は、このような生き方をされると説かれています。

私たちが人と接する時、和やかで穏やかな笑顔と思いやりのある温かい言葉をかけて、相手の心の内を察して考え、感じて先んじて行動し、その人の思いを満ちし、期待に応えることができたならば、相手も穏やかで心豊かにして、心と心の深いつながりや絆を結ぶことができます。そのためには、最初に相手の本当の意を受け入れて、心の内を真に思いやることです。そして、その相手の思いを満ちそうとした時、はじめて微笑みと慈愛の言葉が発せられるのであり、真実の智慧と慈悲（じひ）の心を備えたものから生まれる態度であると言えます。

師走となり、世の中は何かと忙しい時期です。忙殺されると、気持ちに余裕がなくなり、精神的にも不安定になりやすい。特に受験を控えた3年生の皆さんは気を付けましょう。イライラしてきたら「和顔愛語」を心がけましょう。イライラは周りに伝染します。一人のイライラのせいで、それまで良かった雰囲気が悪くなることもあります。そんな時こそ「先意承問」も実践してみましょう。和やかな顔と思いやりの言葉で人に接して相手の気持ちをいたわり、先に相手の気持ちを察して、相手のために何ができるか自分自身に問い直すのです。笑顔になってほしいのならば、まずは相手に笑顔を見せるのです。優しい言葉をかけてほしいのならば、まずは相手に優しい言葉をかけてあげるのです。幸せを求めるならば、まずは相手に幸せを与えるのです。自分から先に相手の気持ちを重んじて、相手の幸せを考えるのです。大切なのは、忠恕、思いやりです。

高校受験に秘策はありませんが、あえて、一つ挙げるとすれば、心の安定だと思います。

◎瑞穂中学校は「いじめ」を許しません！

いじめに限らず、何かありましたら学校へご相談ください。電話 042-557-0070

◎不審者に十分気を付けましょう。何かあったら、まず、「110番」！

☆福生警察生活安全課より

先輩や知らない人から頼まれて、物や現金等を受け取る行為、これは、実は“振り込め詐欺”の受け子の仕事。何の罪の意識ももたないで犯罪に巻き込まれることがあるそうです。十分注意しましょう。

トピックス

10月29日(月) 株式会社 IHI 山中氏による出前授業



10月30日(火) 瑞中学区の先生方による研修会



11月2日(金) 1・2年生実力確認テスト



11月8日(木) 「みずほ学」研究授業(美術 寺西教諭)



11月10日(土) PTA活動(草刈り)



11月20日(火)～22日(木) 期末考査



☆ご家庭でも積極的に進めてください

◆「STOP22!!」22時以降は、スマホ等の使用をやめましょう。

☆お子様の肖像使用について

◆本校では、学校の広報活動の一環として授業・学校行事・部活動等の生徒の様子を写真に撮り印刷物やホームページに掲載する等の活用をさせていただきます。保護者の皆様には予めご承諾賜りたくお願い申し上げます。尚、ご承諾頂けない場合は、その旨担任にお申し出ください。

☆子どもの虐待について

◆しつけと称する暴力、子の人格を否定するようなことば、無視や過度な放任も虐待に含まれます。家庭・学校・地域が一体となって、心身共に健全な子どもを育成していきましょう。